

令和5年度 全国学力・学習状況調査結果及び改善方策について

佐伯市教育委員会

令和5年度 全国学力・学習状況調査結果及び改善方策について(小6・中3)

市内の小学校6年生と中学校3年生を対象に、令和5年4月18日(火)に「全国学力・学習状況調査」を実施しました。以下は、その集計結果です。

【目的】

- ①児童生徒の学力や学習・生活状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題の検証・改善を図る。
- ②学校における児童生徒への教育指導の充実、学習状況の改善等に役立てる。
- ③教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

【調査内容】

①教科に関する内容

小6…国語、算数の2教科

中3…国語、数学、英語の3教科

- ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等を調査。
- ・知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等を調査。

②生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

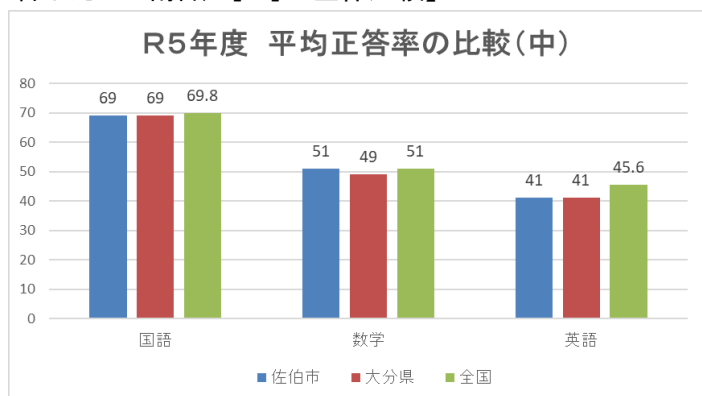
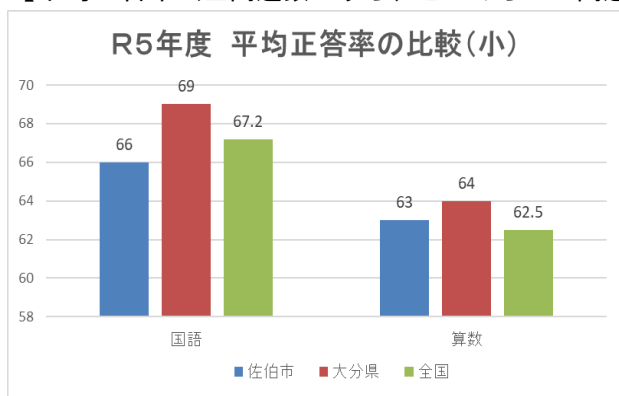
児童生徒質問紙・・・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

学校質問紙・・・指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況に関する調査

	小学校6年生			中学校3年生			
	国語	算数	合計	国語	数学	英語	合計
佐伯市	66	63	129	69	51	41	161
大分県	69	64	133	69	49	41	159
全国	67.2	62.5	129.7	69.8	51.0	45.6	166.4

は全国平均以上

【平均正答率(全問題数のうち、どのくらいの問題を正答したかの割合) [%]の全体比較】



<結果概況>

- 小学校は、算数で全国平均を上回った。
- 中学校は、数学が全国平均と同値であった。国語・英語は全国平均を下回った。
- 小学校は、国語は県平均との差が大きいが、算数は県平均との差は小さい。
- 中学校は、国語・数学・英語において、県平均と同値または上回った。

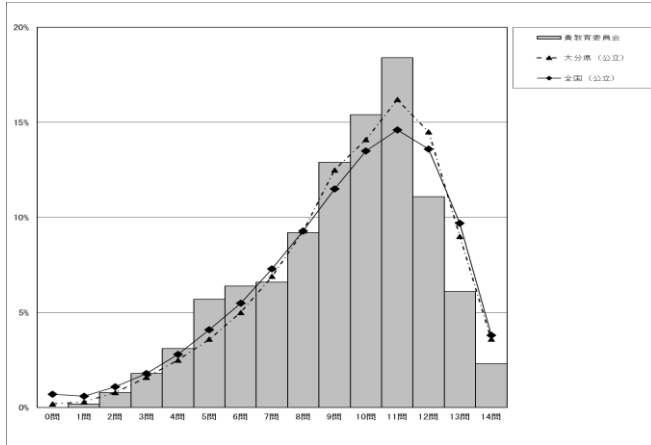
<課題と対策>

- 小学校の国語においては、問題の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめる問題、算数においては、2つのグラフを読み、見出した違いを言葉と数を用いて記述する問題の無解答率が高い。読解力・表現力に課題があることから、児童のつまづきはどこから生じているのかを分析し、定着習熟を図る必要がある。
- 中学校は、国語・数学・英語において、文書を読んで根拠を明確にしながらか自分の考えを説明する問題を中心に無解答率が高い。生徒の解答の傾向等を分析し、記述する力を付けるための授業改善を図る必要がある。

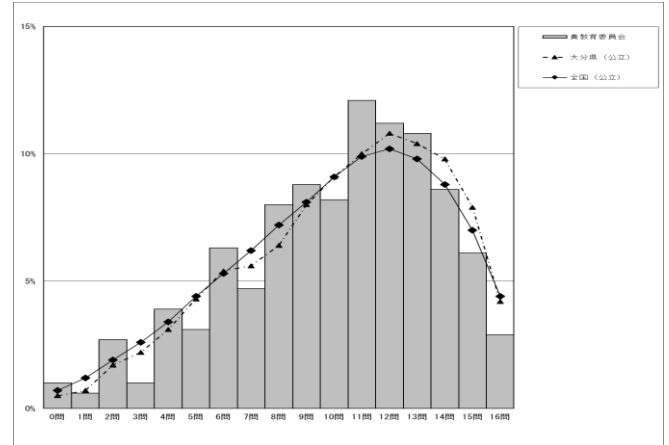
調査結果概況<小学校>

	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率 (%)	平均正答数	平均正答率 (%)
佐伯市教育委員会	9.2/14	66	10.0/16	63
大分県(公立)	9.6/14	69	10.3/16	64
全国(公立)	9.4/14	67.2	10.0/16	62.5

小学校国語 分布



小学校算数 分布



小6国語 平均正答率(%)

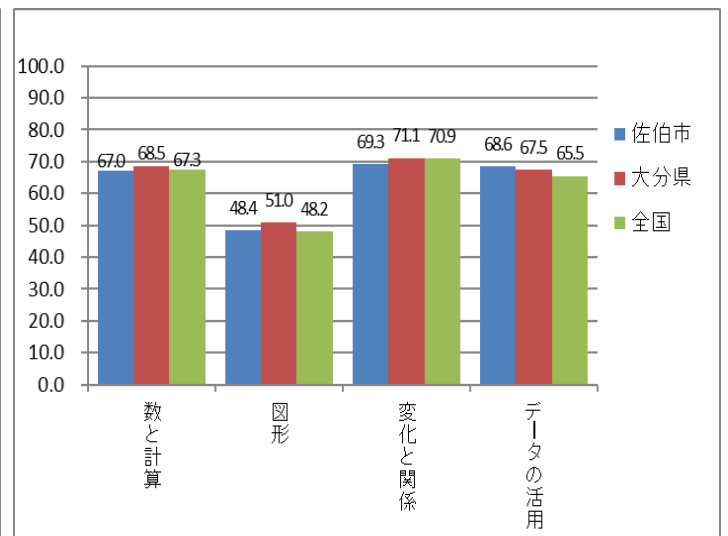
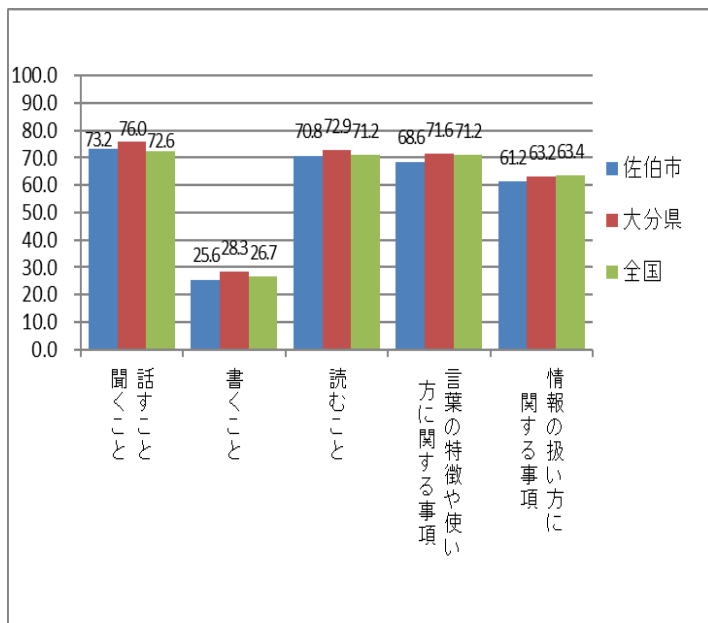
学習指導要領の内容	佐伯市	大分県	全国
話すこと・聞くこと	73.2	76.0	72.6
書くこと	25.6	28.3	26.7
読むこと	70.8	72.9	71.2
言葉の特徴や使いに関する事項	68.6	71.6	71.2
情報の扱い方に関する事項	61.2	63.2	63.4

小6算数 平均正答率(%)

学習指導要領の内容	佐伯市	大分県	全国
数と計算	67.0	68.5	67.3
図形	48.4	51.0	48.2
変化と関係	69.3	71.1	70.9
データの活用	68.6	67.5	65.5

は全国平均以上

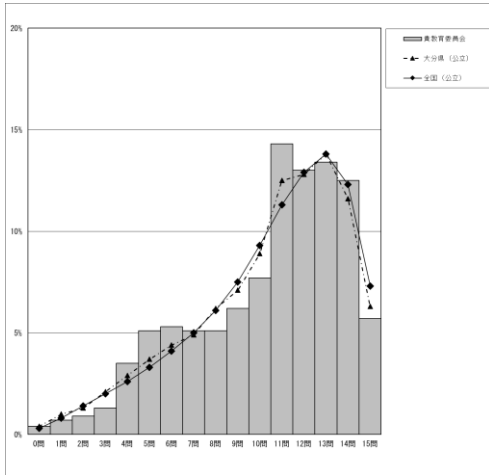
は全国平均以上



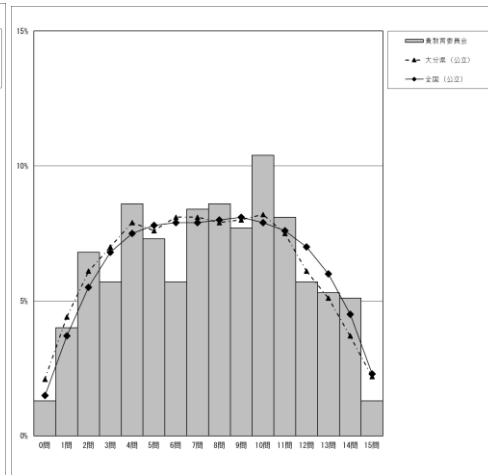
調査結果概況<中学校>

	国語		数学		英語	
	平均正答数	平均正答率 (%)	平均正答数	平均正答率 (%)	平均正答数	平均正答率 (%)
佐伯市教育委員会	10.3/15	69	7.6/15	51	7.0/17	41
大分県 (公立)	10.3/15	69	7.4/15	49	7.0/17	41
全国 (公立)	10.5/15	69.8	7.6/15	51.0	7.7/17	45.6

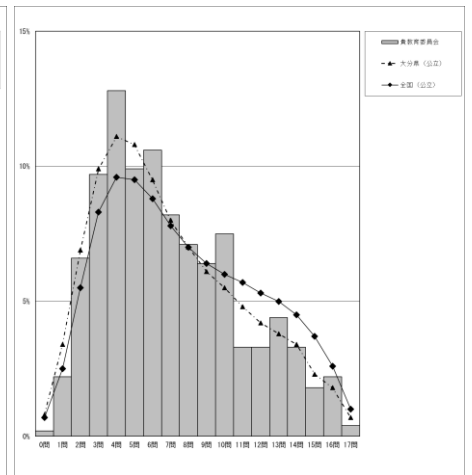
中学校国語 分布



中学校数学 分布



中学校英語 分布



学習指導要領の内容	平均正答率(%)		
	佐伯市	大分県	全国
話すこと・聞くこと	81.9	81.4	82.2
書くこと	60.8	60.1	63.2
読むこと	62.8	62.2	63.7
言葉の特徴や使いに関する事項	62.0	65.2	67.5
情報の扱いに関する事項	65.1	62.6	63.4
我が国の言語文化に関する事項	76.0	76.4	74.7

は全国平均以上

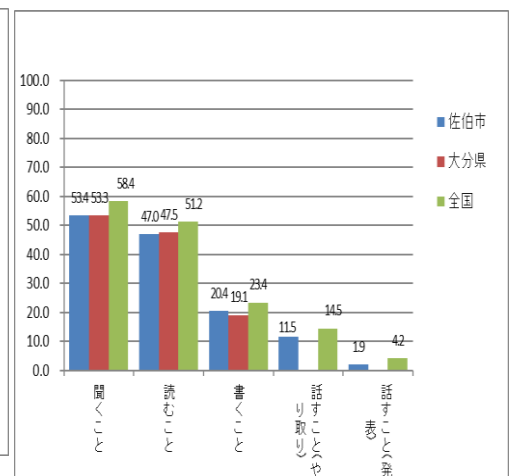
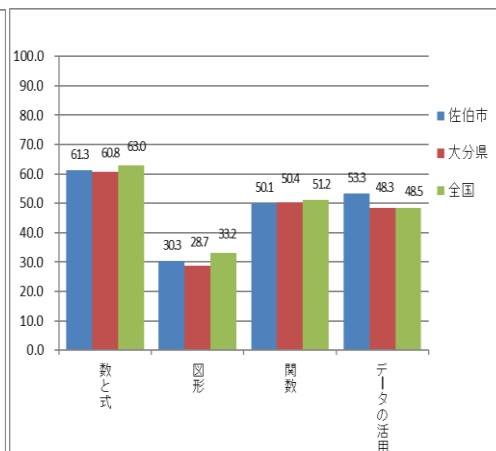
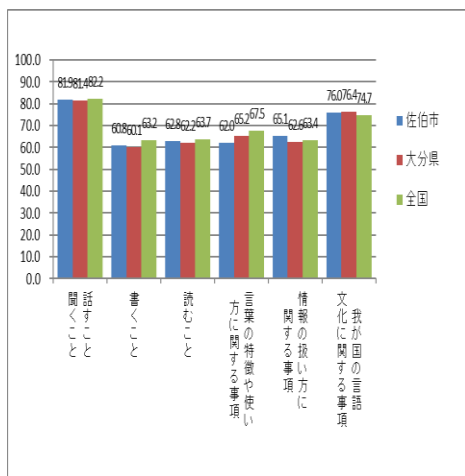
学習指導要領の領域	平均正答率(%)		
	佐伯市	大分県	全国
数と式	61.3	60.8	63.0
図形	30.3	28.7	33.2
関数	50.1	50.4	51.2
データの活用	53.3	48.3	48.5

は全国平均以上

領域別正答率	平均正答率(%)		
	佐伯市	大分県	全国
聞くこと	53.4	53.3	58.4
読むこと	47.0	47.5	51.2
書くこと	20.4	19.1	23.4
話すこと (やり取り)	11.5		14.5
話すこと (発表)	1.9		4.2

※話すこと(やり取り・発表)は参考値

は全国平均以上



小学校国語

佐伯市の平均正答率	66%
大分県の平均正答率	69%
全国の平均正答率	67.2%

◇正答率が高い設問 ◆正答率が低い等課題が見られる設問

○設問数 14問

- ◇平均正答率80%以上の問題・・・3問（大分県2問、全国2問）
- ◇平均正答率が全国平均以上の問題・・・5問（大分県11問）
- ◆平均正答率60%未満の問題・・・5問（大分県4問、全国4問）
- ◆平均正答率が全国を下回っている問題・・・8問（大分県3問）

①学習指導要領における領域・問題別に見た分析

<無解答率が高かった問題>

- ◆3二 寺田さんと山本さんが、どのような思いでボランティアを続けているのかについて、分かったことをまとめて書く。（佐伯市10.9%・大分県9.1%）

<正答率が低かった問題>

【書くこと】

- ◆1二 【文章】の空欄に学校の米作りの問題点と解決方法を書く。（佐伯市25.6%・大分県28.3%）
→図表やグラフを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。

【読むこと】

- ◆2四 資料を読み、運動と食事の両方について分かったことをもとに、自分ができそうなことをまとめて書く。（佐伯市52.9%・大分県58.4%）
→文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることに課題がある。

【言葉の特徴や使い方に関する事項】

- ◆1三 【文章】の下線部アを、漢字を使って書き直す（いがい）（佐伯市44.5%・大分県53.9%）
→文意をとらえ、適切な漢字を書く（使う）ことに課題がある。

②具体的な改善方策

- 図表やグラフなどを用いると自分にとっても考えを深めやすく、相手にとってもよく理解できる文章になることを実感させる学習活動を位置付ける。
 - ・教師が図表やグラフを用いて学習モデルとなる文章を提示することが重要である。学習モデルが、児童の困りに応じた具体的な手立てとなる。
 - ・書いた文章の感想や意見を学級の友達と伝え合い、感想や意見を伝え合うことによって、他者の文章のよいところを見付けるだけでなく、自分の文章のよいところを見付けることができるようにすることが大切である。
- 複数の資料を読んで理解したことを関連付けながら、自分の考えをまとめる、自分の考えを表現する学習活動を充実させる。
 - ・下記にある〔知識及び技能〕の「情報の整理」の指導事項との関連を図り、単一の情報のみに基づくのではなく、複数の情報を比較したり、関連付けたりして検討するように指導すること、そして、自分の考えを表現する学習活動につなげていくことが大切である。
- （情報と情報との関係）
 - ア 原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。
- （情報の整理）
 - イ 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で適切に使うことを大切にする。
 - ・単語で漢字を覚えるのではなく、前後の文章の中で正しい漢字を選択したり、文意に沿った漢字を書き表したりする学習活動を大切にする。
 - ・他教科や日常生活と関連させて、漢字に慣れ親しませていく。

小学校算数

佐伯市の平均正答率	63%
大分県の平均正答率	64%
全国の平均正答率	62.5%

◇正答率が高い設問 ◆正答率が低い等課題が見られる設問

○設問数 16問

- ◇平均正答率80%以上の問題・・・4問（大分県4問、全国4問）
- ◇平均正答率が全国平均以上の問題・・・7問（大分県13問）
- ◆平均正答率60%未満の問題・・・7問（大分県6問、全国8問）
- ◆平均正答率が全国を下回っている問題・・・10問（大分県3問）

①学習指導要領における領域・問題別に見た分析

<無解答率が高かった問題>

- ◆4(3) 2つのグラフから、30分以上の運動をした日数が1日と答えた人数に着目して、わかることを書く。(佐伯市14.9%・大分県12.4%)

<正答率が低かった問題>

【図形】

- ◆2(3) 切って開いた三角形を正三角形にするために、テープを切るときのAの角の大きさを書く。(佐伯市18.6%・大分県23.1%)
→問題場面に応じて、正三角形の意味や性質を使い分けることに課題がある。
- ◆2(4) テープを直線で切ってできた2つの三角形の面積の大小について分かることを選び、選んだ理由を書く。(佐伯市21.7%・大分県27.4%)
→具体的数値が示されていない三角形の面積について、面積の大小を判断するのに必要な情報を見だし、その理由を記述することに課題がある。

【変化と関係】

- ◆1(3) 椅子4脚の重さが7kgであることを基に、48脚の重さの求め方と答えを書く。(佐伯市52.4%・大分県56.0%)
→伴って変わる2つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方を、式や言葉を使って説明することに課題がある。

②具体的な改善方策

- 複数の棒グラフなどのデータを活用し、グラフから目的に応じた情報をよみとること、見出した違いを考察する学習活動を位置付ける。
 - ・複数のグラフを組み合わせたグラフから、特徴や傾向を捉えたり、考察したりしたことを、グラフのどの部分からそのように考えたのかを明確にしながら、友達にわかるように説明したり、記述したりすることができるようにすることが大切である。

- 図形の問題において、具体的な数値が示されていない場面において、問題を解決するために必要な情報を見いだしたり、適当な数値を当てはめたりして考える学習活動を位置付ける。
 - ・正三角形や二等辺三角形などの図形の意味を理解したり、図形の性質を見付けたり、図形の性質を確かめたりする活動を位置付ける。
 - ・底辺や高さなど、具体的に数値が示されていない問題を扱い、図形の意味や性質をもとにして数値を見出したりする学習活動を大切にする。
 - ・具体的な数値が示されていなくても、図形の意味や性質をもとにして、面積の大小を判断する学習活動を大切にする。

- 問題場面の数量の関係に着目し、伴って変わる2つの数量の関係について考察して、数学的に表現・処理する活動を位置付ける。
 - ・伴って変わる2つの数量が、どのような関係にあるのか考察することを大切にする。また、伴って変わる2つの数量の間に比例の関係があることを見だし、その比例の関係を用いて、未知の数量の求め方を説明する学習活動を位置付ける。

中学校国語

佐伯市の平均正答率	69%
大分県の平均正答率	69%
全国の平均正答率	69.8%

◇正答率が高い設問 ◆正答率が低い等課題が見られる設問

○設問数15問

- ◇平均正答率80%以上の問題・・・4問（大分県4問、全国4問）
- ◇平均正答率が全国平均以上の問題・・・6問（大分県6問）
- ◆平均正答率60%未満の問題・・・3問（大分県4問、全国3問）
- ◆平均正答率が全国を下回っている問題・・・10問（大分県9問）

①学習指導要領における領域・問題別に見た分析

<無解答率が高かった問題>

- ◆4三 現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのように工夫されているかについて、古典と比較して書く。（佐伯市19.6%・大分県22.9%）
- ◆3二 漢字を書く（おし量って）（佐伯市11.6%・大分県10.9%）
- ◆1四 インタビューのまとめとしてどのようなことを述べるのか、自分の考えを書く。
（佐伯市9.7%・大分県12.4%）

<正答率が低かった問題>

【言葉の特徴や使い方に関する事項】

- ◆3二 漢字を書く（おし量って）（佐伯市34.5%・大分県39.4%）
→文脈に即して漢字を正しく書くことに課題がある。

【書くこと】

- ◆3四 「『判じ絵』の解説の面白さ」と見出しを付けた部分に具体例として示す「判じ絵」を選択し、その解説の仕方を書く。（佐伯市67.0%・大分県68.5%）
→自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことに課題がある。

【読むこと】

- ◆4三 現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのように工夫されているかについて、古典と比較して書く。（佐伯市50.8%・大分県49.0%）
→文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考え、自分の考えを書くことに課題がある。
- ◆2四 自分がこれからどのように本を読んでいきたいかについて、読んだ文章を参考にして、知識や経験に触れながら書く。（佐伯市66.8%・大分県67.5%）
→文章を読んで理解したことなどをもとに、読書に関する経験や知識と結び付け、自分の本の読み方について自分の考えを書くことに課題がある。

②具体的な改善方策

- 自分の考えが伝わる文書になるように、根拠を明確にして書く言語活動を位置付ける。
 - ・複数の事例の中から、どの事例を自分の考えを支える根拠とするのかを検討したり、取り上げる根拠をどのように文章中に記述するのかを吟味したりする学習活動を充実させることが大切である。
 - ・相手意識や目的意識を明確にした書くことの言語活動を位置付け、根拠となる事実や事例を検討し、自分の考えと事例等との関係を明確にして記述できるように指導することが大切である。

- 幅広く文学作品に目を向け、文章を読んで理解したことと、自分の知識や経験を結び付けて、自分の考えを広げたり深めたりすることができる学習活動を位置付ける。
 - ・様々な文学作品の内容読解だけで終わるのではなく、作品や文章を読んで理解したことを、自分の生活経験などと結び付けて考えたり、考えたことを伝えたりする学習活動を位置付けることによって、子ども達の考えを深めたり広げたりする指導を行うことが大切である。

○文脈に即して、漢字を正しく使うことを大切にする。

- ・単語のみで漢字を学習するのではなく、熟語や漢字のもつ意味などと関連付けた指導を行うことが大切である。
- ・漢字を書く活動を通して、漢字を正しく用いる態度と習慣を養うことが大切である。
- ・タブレット端末等で文字を入力する際にも、適切な漢字を選択することができるよう変換の際に意味を確認したり、必要に応じて辞書を引いたりすることができるように指導することが大切である。

中学校数学

佐伯市の平均正答率	51%
大分県の平均正答率	49%
全国の平均正答率	51.0%

◇正答率が高い設問 ◆正答率が低い等課題が見られる設問

○設問数 15 問

- ◇平均正答率 80% 以上の問題・・・2 問（大分県 1 問、全国 2 問）
- ◇平均正答率が全国平均以上の問題・・・6 問（大分県 3 問）
- ◆平均正答率 60% 未満の問題・・・11 問（大分県 12 問、全国 11 問）
- ◆平均正答率が全国を下回っている問題・・・9 問（大分県 12 問）

①学習指導要領における領域・問題別に見た分析

<無解答率が高かった問題>

- ◆6(3) はじめの数にける数がかいくつ、たす数がかいくつであれば、計算結果はいつでも4の倍数になるかを説明する。（佐伯市22.0%・大分県26.3%）
- ◆7(2) 「2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある」と主張することができる理由を、箱ひげ図の箱に着目して説明する。（佐伯市20.3%・大分県25.8%）
- ◆9(1) 2つの直線BCと直線AEが平行であることを、三角形の合同を基にして、同位角又は錯角が等しいことを示すことで証明する。（佐伯市24.2%・大分県29.0%）

<正答率が低かった問題>

【関数】

- ◆4 y が x に反比例し、比例定数が3のとき、 x の値とそれに対応する y の値について、正しい記述を選ぶ。（佐伯市43.0%・大分県45.2%）
→反比例の意味を理解することに課題がある。

【数と式】

- ◆1 -5、0、3、4、7、9の中から自然数を全て選ぶ。（佐伯市36.6%・大分県39.5%）
→自然数の意味を理解することに課題がある。
- ◆6(3) はじめの数にける数がかいくつ、たす数がかいくつであれば、計算結果はいつでも4の倍数になるかを説明する。（佐伯市39.6%・大分県40.3%）
→結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結果を振り返って考え、成り立つ事柄を見だし、説明することに課題がある。

【図形】

- ◆9(1) 2つの直線BCと直線AEが平行であることを、三角形の合同を基にして、同位角又は錯角が等しいことを示すことで証明する。（佐伯市23.8%・大分県25.5%）
→ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することに課題がある。

【データの活用】

- ◆7(2) 「2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある」と主張することができる理由を、箱ひげ図の箱に着目して説明する。（佐伯市30.0%・大分県30.4%）
→複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。

②具体的な改善方策

○各領域において、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法や判断の理由について、数学的な表現を用いて説明する学習を充実させる。

- ・言葉や数、表、式、グラフなど、どれをどのように用いたのか根拠を明確にすることを大切にする。
- ・説明する内容や意図について明確に示しながら、以下のような活動をそれぞれの領域において、生徒が数学的に説明できる活動を充実させる。

- ①「事柄・事実の説明」・・・見いだした事柄や事実を、「○○（前提）ならば（なので）、□□（結果）になる。」のような形で説明する。
- ②「方法・手順の説明」・・・用いるもの（表、式、グラフ等）を明確にしたうえで、方法や手順を的確に説明する。
- ③「理由の説明」・・・ある事柄が成り立つ理由を、「○○（根拠）であるから、△△（成り立つ事柄）である。」のような形で説明する。

中学校英語

佐伯市の平均正答率	41%
大分県の平均正答率	41%
全国の平均正答率	45.6%

◇正答率が高い設問 ◆正答率が低い等課題が見られる設問

○設問数17問

- ◇平均正答率80%以上の問題・・・0問（大分県0問、全国0問）
- ◇平均正答率が全国平均以上の問題・・・1問（大分県0問）
- ◆平均正答率60%未満の問題・・・16問（大分県16問、全国16問）
- ◆平均正答率が全国を下回っている問題・・・15問（大分県17問）

①学習指導要領における領域・問題別に見た分析

<無解答率が高かった問題>

- ◆8(2) ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書く。
(佐伯市25.8%・大分県30.8%)
- ◆9(2) メールの英文を依頼する表現に書き換える。
(佐伯市20.8%・大分県26.8%)
- ◆10 学校生活(行事や部活動など)の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それを説明するまとまりのある文章を書く。
(佐伯市16.6%・大分県22.6%)

<正答率が低かった問題>

【聞くこと】

- ◆1(3) 買物の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する。
(佐伯市49.4%・大分県45.4%)
→情報を正確に聞き取ることに課題がある。

【読むこと】

- ◆6 友達からのメールを読み、相手が示した条件に合うイベントとして最も適切なものを選択する。
(佐伯市31.1%・大分県31.7%)
→日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることに課題がある。

【書くこと】

- ◆9(1) 与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる。
(佐伯市16.3%・大分県17.8%)
→疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書くことに課題がある。
- ◆10 学校生活(行事や部活動など)の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それを説明するまとまりのある文章を書く。
(佐伯市9.3%・大分県6.8%)
→日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことに課題がある。

②具体的な改善方策

- 日常的な話題について、短い情報を正確に聞き取る学習活動を充実させる。
 - ・問題場面を理解し、何を聞き取ればよいのか把握したうえで、それらに関連する語句や表現に着目して必要な情報を聞き取る学習活動を、計画的・継続的に行うことを大切にする。
- 日常的な話題に関する英文の概要を捉える学習活動を継続的・計画的に位置付ける。
 - ・単語の意味、1文の意味などを理解させることのみにとらわれることなく、登場人物の行動や心情の変化、全体のあらすじなど、書き手が述べていることのおおまかな内容を捉えることを大切にする。そのために、段落内の文と文との関係を読みながら、各段落の主な内容を捉える指導を繰り返していくことを大切にする。
- 自分の考えや気持ちを英語で書く言語活動を、領域を統合して単元を構想する。
 - ・基本的な語や文法事項を確実に身に付けさせていくことを大切にし、英語を使ってまとまりのある文章を書く学習を継続的に行うことが大切である。
 - ・書くこと領域を単独で指導するだけでなく、英文を読み、大まかな内容を捉えさせたうえで、内容に対する感想や賛否、自分の考えを話したり、書いたりして表現するなど、領域を統合した言語活動を行うことを大切にする。
- やり取りの言語活動を継続的・計画的に位置付ける。
 - ・即興的に事実や意見、気持ちなどを伝え合う言語活動を行うことを大切にする。

令和5年度 全国学力・学習状況調査結果（児童・生徒質問紙）

1 調査結果の概要

数値は「当てはまる」「よく行った」等、最も肯定的な数値
 ○：全国値以上 ▼：全国値未満 着色：大分県値以上

【小学校】授業に関すること

No	項目	佐伯市	大分県	全国
29	PC・タブレットなどのICT機器を、週3回以上使用しましたか	○ 65.2	59.7	62.4
30	学校の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	○ 73.2	70.8	67.5
32	自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか	▼ 21.7	22.7	24.8
33	課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	▼ 27.0	31.5	30.5
34	各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	▼ 24.2	27.9	28.3
39	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	○ 32.1	27.8	31.8
42	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学習やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	▼ 39.0	44.0	44.3
43	国語の勉強は好きですか	○ 24.8	25.5	23.8
45	国語の授業の内容はよく分かりますか	○ 44.1	42.3	40.4
46	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	▼ 64.0	64.9	64.4
49	国語の授業で、書いた文章の感想や意見を学級の友達と話し合い、自分の文章のよいところを見つけていますか	○ 31.1	30	28.9
51	算数の勉強は好きですか	▼ 33.1	35.4	34.8
53	算数の授業の内容はよく分かりますか	○ 45.3	43.8	45.2
54	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	▼ 71.7	72.0	73.0
55	英語の勉強は好きですか	▼ 34.8	37.9	38.6
57	将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか	▼ 24.2	26.4	28.9

【小学校】家庭学習に関すること

No	項目	佐伯市	大分県	全国
16	家で自分で計画をたてて勉強をしていますか	▼ 26.4	30.1	28.7
17	普段（月曜日～金曜日）、1時間以上、勉強をしますか	▼ 52	60.5	57.1
20	普段（月曜日～金曜日）、1日当たり30分以上読書を読みますか	▼ 33.1	37.9	37.3
24	読書は好きですか	▼ 32.1	41.5	39.4

【小学校】学びに向かう力に関すること

No	項目	佐伯市	大分県	全国
4	自分には、よいところがあると思いますか	▼ 31.1	40.5	42.6
7	将来の夢や目標をもっていますか	▼ 51.2	58.7	60.8
9	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	○ 85.0	82.5	82.6
11	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	▼ 68.7	74.0	75.3
12	学校に行くのは楽しいと思いますか	○ 55.5	49.9	49.8
23	新聞を、ほぼ毎日読んでいますか	▼ 2.2	2.5	4.3
25	今住んでいる地域の行事に参加していますか	▼ 23.6	26.4	24.3
26	地域や社会をよりよくするために何かしてみたいと思いますか	▼ 27.4	29.8	33.2
27	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか	▼ 38.6	40.9	40.8
28	日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか	▼ 45.1	47.7	45.7

【中学校】授業に関すること

No	項目	佐伯市	大分県	全国
33	PC・タブレットなどのICT機器を、週3回以上使用しましたか	▼ 55.6	63.5	61.1
34	学校の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	○ 64.0	65.2	58.7
36	自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか	○ 21.9	19.7	21.9
37	課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	▼ 25.4	30.0	30.4
38	各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	○ 23.4	23.9	22.7
43	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	○ 30.0	28.0	28.9

46	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学習やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	▼ 40.6	45.6	43.8
47	国語の勉強は好きですか	○ 25.8	23.6	23.6
49	国語の授業の内容はよく分かりますか	○ 33.6	28.8	30.4
50	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	○ 54.7	54.8	52.3
53	国語の授業で、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書いていますか	▼ 19.0	20.0	19.4
55	数学の勉強は好きですか	▼ 26.3	27.9	29.1
57	数学の授業の内容はよく分かりますか	▼ 24.7	30.9	33.9
58	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	▼ 38.0	40.6	38.8
59	英語の勉強は好きですか	○ 26.5	25.5	25.2
61	英語の授業の内容はよく分かりますか	○ 30.0	26.3	28.0
62	将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか	▼ 13.0	13.9	15.7

【中学校】家庭学習に関すること

No	項目	佐伯市	大分県	全国
16	家で自分で計画をたてて勉強をしていますか	○ 17.4	15.6	15.3
17	普段（月曜日～金曜日）、1時間以上、勉強をしますか	○ 72.4	76.9	65.8
20	普段（月曜日～金曜日）、1日当たり30分以上読書を読みますか	○ 29.1	28	28.4
24	読書は好きですか	▼ 33.6	35.4	35.2

【中学校】学びに向かう力に関すること

No	項目	佐伯市	大分県	全国
4	自分には、よいところがあると思いますか	▼ 32.0	35.5	37.2
7	将来の夢や目標を持っていますか	▼ 34.2	37.8	39.4
9	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	○ 82.1	82.9	80.3
11	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	▼ 70.6	70.6	71.7
12	学校に行くのは楽しいと思いますか	▼ 42.8	44.2	43.3
23	新聞を、ほぼ毎日読んでいますか	▼ 1.1	2.1	2.5
29	今住んでいる地域の行事に参加していますか	○ 14.3	13.1	13.2
30	地域や社会をよりよくするために何かしてみたいと思いますか	▼ 18.5	19.1	19.6
31	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか	▼ 33.8	35.1	34.9
32	日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか	○ 28.7	29.8	26.2

2 児童・生徒質問紙の調査結果をふまえて

- ・「授業に関すること」「家庭学習に関すること」「学びに向かう力に関すること」の質問項目において、全国値よりも割合が低い項目（▼）が多く見られる。児童生徒の回答を真摯に受け止め、具体的な改善方針に繋げていくことが必要である。
- ・小学校英語、中学校数学においては、全国値に比べ教科の学習の好感度が下回っている。各教科でその要因を分析し、「楽しい、わかる、できる」授業にむけて、授業改善を進める必要がある。
- ・家庭学習について、「家で自分で計画をたてて勉強をする」「1日に1時間以上勉強する」が、小学校において全国値を下回っている。児童の実態を踏まえ、学習計画の立て方と関連させた手立てを講じる必要がある。
- ・小・中学校ともに、「読書は好きですか」が全国値を下回っている。読書に親しむ取組や読書環境整備など具体的な改善策を講じる必要がある。
- ・小・中学校ともに、「自分にはよいところがあると思いますか」「将来の夢や目標を持っていますか」が全国値を大きく下回っている。児童生徒の実態分析を行い、人間関係構築のための手立てを具体的に挙げる必要がある。

令和5年度 全国学力・学習状況調査結果（学校質問紙）

1 調査結果の概要

数値は「当てはまる」「よく行った」等、最も肯定的な数値

◎：全国値より10%以上

○：全国値以上 ▼：全国値未満 着色：大分県値以上

【小学校】授業に関すること

No	項目	佐伯市	大分県	全国
9	授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	▼ 31.6	42.5	38.1
11	将来、就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか	○ 21.1	23.5	20.4
12	学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか	○ 57.9	58.3	49.4
21	言語活動について、国語科を要しつつ、各教科等の授業に応じて、学校全体として取り組んでいますか	▼ 31.6	52.6	40.5
26	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことが出来ていると思いますか	○ 26.3	32.8	21.4
37	総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の課程を意識した指導をしていますか	◎ 52.6	40.5	35.7
43	国語の授業において、互いの立場や意図を明確にしなが計画的に話し合い、異なる意見を自分の考えに生かして考えをまとめることができるような指導を行いましたか	◎ 42.1	36.0	27.9
44	国語の授業において、互いの書いた文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができるような指導を行いましたか	◎ 47.4	36.0	32.0
45	国語の授業において、登場人物の人物像や物語の全体像を具体的に想像し、表現の効果を考えて読むことができるような指導を行いましたか	◎ 47.4	43.3	36.9
46	算数の授業において、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	○ 31.6	25.9	26.8
47	算数の授業において、具体的な物を操作するなどの体験を伴う学習を通して、数量や図形について実感を持った理解をする活動を行いましたか	○ 47.4	47.0	35.7
48	算数の授業において、公式やきまり、計算の仕方等を指導するとき、児童がそのわけを理解できるように工夫していましたか	○ 52.6	53.0	45.1
52	教員が大型掲示装置等のICT機器を活用した授業を週3回以上行いましたか	○ 94.7	83.8	88.5
53	教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がありますか	▼ 63.2	71.7	65.1
55	児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業で週3回以上活用しましたか	▼ 89.4	89.9	90.6

【小学校】家庭学習に関すること

No	項目	佐伯市	大分県	全国
75	家庭学習の課題の課し方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか	◎ 52.6	55.5	39.6
76	学校では、家庭での学習方法等を具体的例を挙げながら教えましたか	○ 52.6	53.0	44.0
77	学校では、児童が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童の学習改善に生かしましたか	◎ 42.1	45.7	30.5

【小学校】教育課程に関すること

No	項目	佐伯市	大分県	全国
18	教育課程表について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか	○ 47.4	59.1	42.3
19	児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか	◎ 57.9	58.7	39.2
20	指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人材・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか	◎ 68.4	56.3	43.2
67	近隣等の中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	○ 21.1	34.0	18.5
71	教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか	◎ 36.8	29.1	24.8
72	保護者や地域の方が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営等の活動に参加していますか	○ 57.9	62.3	56.5
74	コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まりましたか	◎ 42.1	42.1	27.3

【中学校】授業に関すること

No	項目	佐伯市	大分県	全国
9	授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	○ 58.3	55.9	55.7
11	将来、就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか	▼ 41.7	49.2	49.5
12	学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか	◎ 75.0	56.8	44.6

21	言語活動について、国語科を要しつつ、各教科等の授業に応じて、学校全体として取り組んでいますか	◎	58.3	47.5	33.3
26	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことが出来ていると思いますか	○	25.0	28.0	19.2
37	総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の課程を意識した指導をしていますか	◎	66.7	45.8	38.0
43	国語の授業において、自分の考えを分かりやすく伝えるために、聞き手の立場に立って効果的な話し方を工夫することができるような指導を行いましたか	○	33.3	44.1	32.7
44	国語の授業において、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書くことができるような指導を行いましたか	◎	75.0	52.5	37.5
45	国語の授業において、文学的な文章を読み、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉えることができるような指導を行いましたか	◎	66.7	56.8	54.2
46	数学の授業において、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	○	25.0	29.7	22.1
47	数学の授業において、観察や操作、実験等の活動を通して、数量や図形等の性質を見いだす活動を行いましたか	◎	50.0	33.1	22.2
48	数学の授業において、公式やきまりなどを指導するとき、生徒がその根拠を理解できるように工夫していましたか	○	58.3	55.1	48.4
51	英語の授業において、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う言語活動を行いましたか	▼	16.7	22.9	23.7
52	英語の授業において、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する言語活動を行いましたか	○	33.3	28.0	32.4
54	英語の授業において聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で回答したり意見を述べ合ったりする言語活動を行いましたか	○	25.0	30.5	24.3
60	教員が大型掲示装置等のICT機器を活用した授業を週3回以上行いましたか	◎	100.0	89.8	89.1
61	教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がありますか	◎	91.7	74.6	54.3
63	生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業で週3回以上活用しましたか	◎	100.0	88.1	86.7

【中学校】家庭学習に関すること

No	項目	佐伯市	大分県	全国	
83	家庭学習の課題の課し方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか	▼	25.0	44.9	29.7
84	学校では、家庭での学習方法を具体的な例を挙げながら教えましたか	◎	58.3	55.9	30.9
85	学校では、生徒が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童の学習改善に生かしましたか	◎	58.3	48.3	21.6

【中学校】教育課程に関すること

No	項目	佐伯市	大分県	全国	
18	教育課程表について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか	◎	75.0	56.8	39.3
19	児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか	◎	58.3	50.0	35.4
20	指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人材・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか	◎	41.7	39.8	29.2
75	近隣等の小学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	◎	50.0	44.9	25.0
79	教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか	○	25.0	16.9	19.1
80	保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営等の活動に参加していますか	▼	16.7	33.1	26.4
82	コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まりましたか	○	25.0	24.6	19.4

2 学校質問紙調査の結果をふまえて

- ・「授業に関すること」「家庭学習に関すること」「学びに向かう力に関すること」の質問項目において、全国値を上回っている項目が多く、各学校の授業内容や家庭学習の充実のための取組、充実した教育過程の編成が進んでいる。
- ・授業でICT機器を活用した機会(週3回以上)は、小学校94.7%、中学校100%と全国値よりも高くICT機器を活用した授業実践が進んでいるといえる。しかし、同じ質問に、児童は65.2%、生徒は55.6%と回答しており、児童生徒との意識の乖離が見られる。ICT機器を活用することのよさを児童生徒に実感させながら授業での活用を進めていきたい。
- ・小学校の「授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか」「言語活動について、国語科を要しつつ、各教科等の授業に応じて、学校全体として取り組んでいますか」については、全国値を大きく下回っている。授業規律の徹底を図ること、そして、各教科において言語活動を位置付けた授業実践を進めていくことが必要である。
- ・中学校の「将来、就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか」が全国値を大きく下回っており、生徒もそれを実感している。教科指導とともに、生徒の自己肯定感を高める具体的な取組を講じていく必要がある。

佐伯市学力向上対策に係る学力向上の取組

<佐伯市内小・中学校の現状・課題>

- (1) 基礎学力の定着と活用問題（課題）への対応
- (2) 読解力、表現力（読む・聞く → 話す（説明する）・書く）の向上



<現状・課題をふまえた重点的取組>「佐伯市学力向上」プランから

◇定着・習熟の取組

- (1) 「習熟の程度に応じた指導」を意識した授業実践
- (2) 個に応じた授業実践
- (3) N I Eの実践と情報共有
 - ・新聞社のワークシート等を活用した取組
- (4) 問題データベース・タブレット端末用学習教材の有効活用
 - ・「各種学力調査を生かした学力向上対策について<東京書籍問題データベースの活用>」を参考に
- (5) 各種学力調査（全国調査・県調査・市調査）問題の有効活用
 - ・授業の内容に即して活用問題・練習問題として出題し解説
 - ・「調査問題活用の参考資料」（国立教育政策研究所）等を参考に
- (6) 佐学研小学校理科部会作成教材の活用
- (7) 英検の受検促進

どこでどのように取り組むのかを明確にし、計画的・継続的な取組を行う。

◇授業力向上の取組（新大分スタンダードに基づく授業改善を進める中で）

- (1) 付けたい資質・能力、評価規準を明確した授業の実施
 - ・授業を実施する前提として、授業者が付けたい資質・能力、評価規準を意識
- (2) 「情報の取り出し」を意識した授業の実施
 - (例) ・わたチェック
 - ・資料や教材文に線を引く
 - ・全文揭示 等
- (3) より多くの情報から情報を取り出し、書いて表現する授業の実施
 - ・複数の情報をもとに、各教科固有の学習用語を使いながら、自分の考えを説明したり、書いたりして表現する。
- (4) 必然性をもったペア・グループ活動の実施
 - ・表現する場面の設定と児童生徒の姿の想定。

校内研修において共通理解し、日常の授業において具現化する。（授業観察の視点に組み入れる）

※「定着・習熟の取組」「授業力向上の取組」については、積極的に研究指定校の実践研究に学ぶこと（授業参観、研修参加等）

※「授業力向上の取組」については、若手教員育成の観点から授業力向上アドバイザーを計画的に活用すること。